

6/13 (土) は総代会終了後 午後1~3時 新本部センター前広場にて 生産者との 交流 & 即売会

新センター見学もかねてぜひおいで下さい!



新センター前広場

総代会 9:30 ~ 12:30 の傍聴も可です。

(時間) 9:30 ~ 12:30 総代会 (本部2F組合員室)
13:00 ~ 15:00 生産者交流会 (センター前広場)

(会場) 常総生協本部 守谷市本町 281 tel: 0297-48-4911

新センターはわたしたち組合員・生産者
みんなの共有財産。みんなが集い協同
する場です。ぜひお集まりください。

2F 本部・1F センターのご案内も
予定しています。

【参加予定生産者】 13:00 ~ 15:00

○鈴木牧場さん

ヨーグルト、他 紹介&即売

○有機野菜生産者さん

(長島さん、宇治田さん、清水さん、やさとの仲間)
有機野菜の説明&即売

○塩屋さん

しじみのはかり売り・漁師のしじみ汁

○レ・リルドさん

手作り石釜でピザ焼き実演& パンの販売

○ニッコーさん

冷凍餃子試食&即売

○白鷹農産加工研究会さん

大豆のお菓子、白鷹特産の団子即売

○藤井養蜂場さん

花別はちみつの試食・販売

募集!

総代会保育ボランティアさん
交流即売会生産者お手伝いさん

常総生協本部新センターのご案内



常総生協本部新センター 守谷市本町 281
 tel 0297-48-4911 (ナビ入力)
 駐車場は本部裏 (10 台) 突き当たり関鉄線路脇 (25 台)。
 ※駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用下さい。



6/13 交流会 & 即売会参加生産者



鈴木牧場さん



ニッコーさん



やさとの仲間



宇治田さん



レルルド ピザ窯



長嶋さん



藤井養蜂三浦さん



塩屋さん



清水農園さん

キトリ

6/13 総代会・生産者との交流会参加・ボランティア申込

コース名 _____ 班名 _____ お名前 _____

電話番号 _____

交通手段 自家用車 (駐車場必要) 公共交通機関 その他

総代会・交流会 参加申込

- 総代会傍聴参加 (9:30 ~ 12:30、9:00 ~ 9:30 までにおいで下さい)
- 生産者との交流会参加 (13:00 ~ 15:00)

総代会保育ボランティア、生産者即売お手伝い

- 総代会保育ボランティア可 (9:30 ~ 12:30 の間)
- 生産者の即売お手伝い可 (12:00 ~ 15:00)

5/16 生協の子どもたちの3回目の甲状腺検診、血液検査

甲状腺エコー検診



組合員の医師に組合員の看護師さん、そして船橋の先生も応援にかけつけてくれました。

エコー検査機、大画面、そして前回までの画像と診断3つの画面を見ながら3人がチェックしてゆきます。

甲状腺検診3年目は、今年は2/14の第1回目146人に続いて2回目。138人の子どもたちの甲状腺の様子を見ました。

今回の検診は、初めて甲状腺検診を受けた子が多かったのが特徴でした。直ちに専門医精密検査を要する子はいませんでした（一安心）。

他方、福島県民健康調査での福島の子は先行検査＋本格検査で、悪性疑いが126名、摘出手術による甲状腺がん確定が103名と100名を超え、国立がんセンターの委員が「これだけのがんが見つかるのは多い」と、はじめて「多発」を認めました。



総勢20名の組合員さんのお手伝いで実現しました。ありがとうございました！



「関東子ども健康調査支援基金」としての検診ですが、生協の検診は自分達の実力で実施することになりました。毎回たくさんの組合員さんがお手伝いしてくれて実現してきましたが、今回はさらに多くの総勢20名の組合員のお父さんお母さんの協力で行うことができました。ありがとうございました。これからも、多くのみなさんのお力をください。よろしくお願いいたします。

血液検査



血液検査も3回目。白血球数、好中球数、リンパ球数、血液像で免疫細胞のようす、炎症の有無（CRT）、そして甲状腺ホルモン・甲状腺刺激ホルモンを調べるために採血をおこないました。2年前の最初の検査結果で、三田先生より常総生協の集団は、福島の子らと同様の免疫低下の傾向があると指摘され、心配もありますが、検査結果が出次第、検診者にお知らせすると共に、医師の所見をもらう予定です。

5/19 東海第2原発差止訴訟 常総生協原告団・賛同人会議



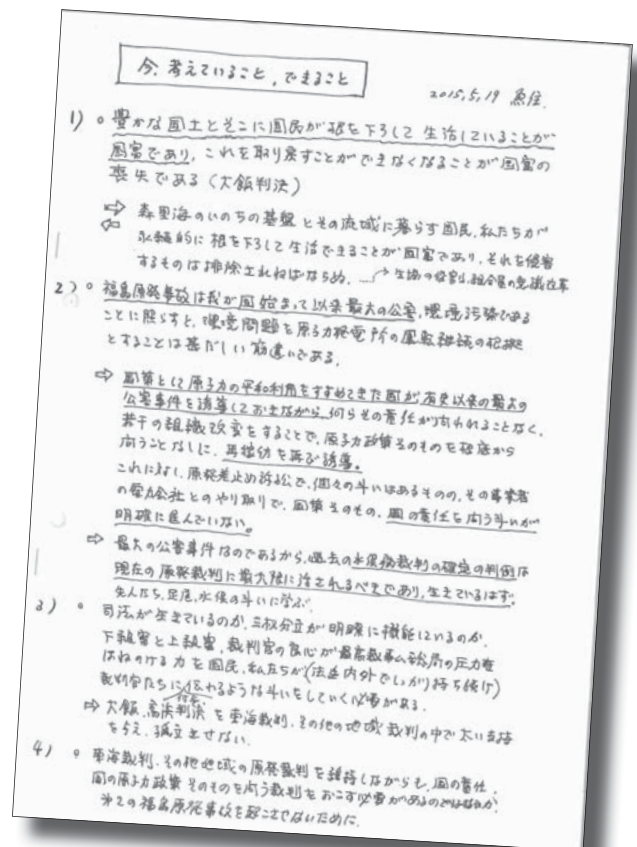
2012年に提訴した東海第2原発運転差止訴訟。原告266名のうち、常総生協からは45名の組合員・生産者が生協を代表して原告になってくださいました。

裁判所（水戸地裁）ではお会いするのですが、生協内の原告・賛同人だけで集まる機会がなかったことから、今回はじめて生協内の原告・賛同人の会合を持ちました。

自己紹介でそれぞれの経緯や思いを語って頂いたあと、組合員で有機農家の魚住道郎さんから福井地裁の原発裁判の判決から何を学び、生協として何ができるのかの問題提起をして頂きました。

「私たちは大飯判決で裁判長が言うような豊かな国土に根を下ろして生活しているだろうか」「森里海に根を下ろした生協活動をすすめることが、持続的な食いのちの安全をつくる道ではないか」と提起がありました。

ディスカッションでは、国の再稼働の動き、そして国民の原発事故の忘却の状況があるが、まずは組合員に裁判の様子を伝えて理解を広めよう、年1回この生協内の会合を開催、年1回は広く組合員さん・生産者に参加してもらって原発をなくすための集りを持つなどが確認されました。



催し案内 6/6 東海村で「標的の村」上映会

（日時）6月6日（土）14:00～、18:00～
 （会場）東海村 石神コミュニティーセンター
 （入場料）前売り1000円、当日1200円

東海第2原発再稼働反対の活動の中でつながった東海村の女性たちが、「沖縄の現実」を映し出した映画を上映しようと呼びかけがありました。

原発が都市の電気のために地方に危険を押しつけると同様、沖縄の人々に軍事基地を押しつけていること、その中で現地沖縄の人たちは必死で自分達の土地と安全と自治を取り戻そうと頑張っている。

しかし、私たちは同じ日本で起きている事実をあまり

にも知らされていない。

今、沖縄で何が起きているか知りたいとの思いで映画会を企画し、三上監督もかけつけてくれてお話しをしてくれる映画会です。

東海村で、ちょっと遠いですが、もし参加できたら生協に前売り券預かってます。

